

Tratz株式会社 各国 COVID-19情報

2021年6月17日現在



国名	感染症危険情報レベル	観光渡航	入国制限	現地到着後	現地状況
ハワイ	レベル3	○	日本からの渡航者は入国可能	・日本出発72時間前にPCR検査を受け、陰性証明書の提出をすれば10日間の自己隔離免除 ※PCR検査はハワイ州保険局が指定する医療機関で受ける必要がある	<オアフ島>現在新型コロナの感染率を示すデータに基づく4段階に渡る経済再開プランを実施していますが、現在は3段階目のティア3(一日の新規感染者数が10日平均50名以下)です。 <カウアイ島>「リゾートバブル」の実施。カウアイ島到着後にPCR検査を受けた旅行者は、陰性証明が出る前の3日間、リゾート内でのみ行動できる。 <ハワイ島>ハワイ島への州外からの渡航者は、到着時に抗原検査。 <マウイ群>新型コロナの接触確認アプリの本格的導入。陰性証明の提示と、アプリのダウンロードや活用を求められ、出来ない場合は10日間の自己隔離が義務付け。
グアム	レベル3	○	日本からの渡航者は入国可能	・入国する全ての者に対して、グアム政府指定施設での14日間の強制隔離。 ・隔離期間中の行動:グアム政府指定施設からの外出禁止、訪問者の受け入れ禁止。 ・ただし、隔離6日目に任意で検査を受検し陰性だった場合は、14日目までの残りの期間は、自宅または自身が予約したホテルでの隔離。	・グアム政府による経済再開4段階は現在ステージ3、最低限の制限です。 ・ワクチン接種率50%。 ・観光業は再開されていない。
シンガポール	レベル2	×	長期滞在パス保持者以外は入国不可 ※ビジネス渡航者向けの「ビジネストラック」も現在停止中。	・到着時にPCR検査を受け、政府指定の宿泊施設にて21日間隔離。	・複数人でレストランでテーブルを広げ規則を守らなかった人に対し、罰金を科すなどの事例が多々確認されている。 ・その他、マスク着用せずに公共エリアにいた場合も罰金の可能性あり。
韓国	レベル2	×	ビザ取得なしでは入国不可(短期・観光ビザの発給は停止中) 既存の査証も無効。	・診断検査実施後、21日間施設にて隔離。 (費用本人負担)	・マスク着用の義務:屋内外公共の場所、交通機関 ・外出自粛要請 ・社会的距離の取れない屋内スポーツ施設やサウナ利用の禁止 ・飲食店の営業時間制限 ・対面での教会礼拝
台湾	レベル2	×	観光目的の入国は不可 (居留証所持、外交、商務、その他特別な許可がない限り現状台湾へ入国不可。)	・14日間一切の外出(ホテル内の客室の出入り)が禁止 ※ホテルによる体調確認や体温確認連絡がある場合も。 終了日の翌日より、7日間の自主健康管理が必要。	・以下の場所でマスク着用義務となる。 ・医療施設、公共交通機関、教育学習施設、レジャー施設、宗教施設、金融・通信・行政関連施設等。 従わない場合罰金が科される。
タイ	レベル2	○	日本国籍の場合は観光目的でも渡航が可能 タイ大使館にて入国許可証(GOE)を取得できない場合、搭乗できない。	・入国管理を通過後、外に出たら自分の宿泊するホテルの関係者がいるので誘導に従い一人一台のワゴン車に乗車しホテルへ移動。14日間の隔離	・マスク着用必須、消毒ジェルの設置、入場時検温の徹底。 ・駅構内待ち列でのソーシャルディスタンス保持。 ・ホテル、レストランは入館時に検温、消毒ジェルの設置、QRコードによる出入場管理。
ベトナム	レベル2	×	観光目的としての入国不可 ハノイ空港、ホーチミン空港では国際線旅客便の受入停止	・政府指定のホテルにて21日間隔離 ・到着後から隔離終了まで3回のPCR検査 * 21日間の隔離を終えた者は、その後7日間、自宅又は居住地で、健康状態について自身による経過観察を継続する。隔離期間終了後の14日間は、集中隔離完了後の管理に関するガイダンスに基づき、当局の指導・監督を受けます。	・必要不可欠でない大勢が集まる会合を中止。 ・職場、学校、病院、選挙関連施設を除き、10人を超えて集まらないこと。マスク着用、消毒、距離の確保、密集しない、医療申告の実施、の徹底。 ・飲食店においては、2mの間隔を確保すること。
フィリピン	レベル3	×	有効なビザを所有する外国人の入国許可	・海外からの入国者に対して到着後10日間は隔離施設またはホテルでの隔離が必要。 ・到着/チェックインの日を1日目とし、7日目に検査が実施されます。 海外から入国された方は、検査結果が陰性であれば、11日目から14日目まで自宅または宿泊施設にて隔離措置を継続することができます。	・国内のワクチン接種事業で約113万回分の接種が完了。 ・フィリピン国内で公共交通機関利用時に、従来のマスク着用に加えてフェイスシールドの装着を義務化。 ・商業施設における接触者追跡用QRコードの提示を義務化。 ・フィリピン国内の全空港における接触追跡アプリの利用義務化
インドネシア	レベル3	×	トランジットを含め、全ての国からの観光目的の外国人の入国禁止。	・到着時に出発時刻前72時間以内に検体採取したPCR検査の陰性証明書を提示しなければならない。 ・入国後、政府の承認を得たホテルで5日間の隔離を行うとともに、到着後24時間後及び5日後のPCR検査を行うことが求められている。 ・その後、入国日から数えて14日間の自主隔離を行うことが推奨されている。	・社会活動制限は5月17日までに延長。 ・制限対象となっている地域では、オフィスへの出勤制限や飲食店やショッピング・センターの営業時間制限、公共交通機関の運行時間制限等が行われています。
スペイン	レベル3	○	日本からの渡航者は入国可能	・申告書面の提出(※) ・検温 ・目視によるチェック (※)スペインに向けて出発する前に、保健省の専用ページ「 https://www.spth.gob.es/ 」又は専用の無料アプリ「SPAIN TRAVEL HEALTH-SpTH」に表示されるフォーマットに電子的に記入し、提出する	<バレンシア州> ・午前1時から午前6時まで「禁止されていた夜間の外出禁止が、解除されることとなりました。また、夜間外出禁止が解除されたことに伴い、飲食店の営業時間が午前1時まで緩和されました。 ・会合・集会に関する規制措置が解除されていますが、各セクターごとに人数が制限されています。
フランス	レベル3	○	日本からの渡航者は入国可能	・到着後の自主隔離:必要なし(ワクチンの接種の有無にかかわらず) ・72時間いないPCR検査または抗原検査の陰性証明書の提出 (ワクチン接種済みの場合は不要)	・日中における外出禁止制限は2021年5月2日で終了 ・夜間(21h~6h)に外出する場合には特例外出証明書が必要

「○」: 観光として入国を許可している国

「×」: 観光として入国拒否している国

レベル2 不要不急の渡航中止

レベル3 渡航はやめてください(渡航中止勧告)